

いよいよ、新学期がスタートしましたね。学校図書館は、感染拡大防止のため、しばらくお休みとなります。それでも、みなさんに本を読んでもらいたいという思いから、ミニ図書館を継続します。6月におすすめの本を揃えました。ぜひ読んでみてください。

どきん

さあページをめくってLet's



## ①『チア男子!!』 朝井リョウ/著

大学1年生の晴希は、道場の長男として幼い頃から柔道を続けてきた。だが、負けなしの姉と比べて自分の限界を悟っていた晴希は、怪我をきっかけに柔道部を退部する。同時期に部をやめた幼なじみの一馬に誘われ、大学チア初の男子チームを結成することになるが、集まってきたのは個性的すぎるメンバーで…。チアリーディングに青春をかける男子たちの、笑いと汗と涙の感動ストーリー。

## ②『夜行』 森見登美彦/著

僕らは誰も彼女のことを忘れられなかった。私たち六人は、京都で学生時代を過ごした仲間だった。十年前、鞍馬の火祭りを訪れた私たちの前から、長谷川さんは突然姿を消した。十年ぶりに鞍馬に集まったのは、おそらく皆、もう一度彼女に会いたかったからだ。夜が更けるなか、それぞれが旅先で出会った不思議な体験を語り出す。私たちは全員、岸田道生という画家が描いた「夜行」という絵と出会っていた。旅の夜の怪談に、青春小説、ファンタジーの要素を織り込んだ最高傑作！「夜はどこにでも通じているの。世界はつねに夜なのよ」

## ③『陸王』 池井戸潤/著

勝利を、信じろ。足袋作り百年の老舗が、ランニングシューズに挑む。このシューズは、私たちの魂そのものだ！埼玉県行田市にある老舗足袋業者「こはぜ屋」。日々、資金操りに頭を抱える四代目社長の宮沢紘一は、会社存続のためにある新規事業を思い立つ。これまで培った足袋製造の技術を生かして、「裸足感覚」を追求したランニングシューズの開発はできないだろうか？世界的スポーツブランドとの熾烈な競争、資金難、素材探し、開発力不足一。従業員20名の地方零細企業が、伝統と情熱、そして仲間との強い結びつきで一世代の大勝負に打って出る！

# 6月のおすすりめ本



	題名	作者	出版社
1	モモ—時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にかえしてくれた女の子のふしぎな物語	エンデ・ミヒヤエル	岩波書店
2	変身	カフカ・フランツ	新潮社
3	アンネの日記	フランク・アンネ	文藝春秋
4	西の魔女が死んだ	梨木香歩	新潮社
5	いなくなれ群青	河野裕	新潮文庫
6	獣の奏者 1 鬨蛇編	上橋菜穂子	講談社
7	羅生門・鼻	芥川龍之介	新潮社
8	天国はまだ遠く	瀬尾まいこ	新潮社
9	夜行	森見登美彦	小学館
10	おおかみこどもの雨と雪	細田守	汐文社
11	掟上今日子の備忘録	西尾維新	講談社
12	みかづき	森絵都	集英社
13	チア男子！！	朝井リョウ	集英社
14	陸王	池井戸潤	集英社
15	都会のトム&ソーヤ①	はやみねかおる	講談社
16	105度	佐藤まどか	あすなろ書房
17	君は月光に光り輝く	佐野徹夜	KADOKAWA
18	ふたり	赤川次郎	新潮社
19	ライ麦畑でつかまえて	サリンジャー	白水社
20	星の子	今村夏子	朝日新聞出版

## ④『モモ』 エンデ・ミヒヤエル/著

時間におわれ、おちつきを失って人間本来の生き方を忘れてしまった現代の人々。このように人間たちから時間を奪っているのは、実は時間泥棒の一味のしわざなのだ。ふしぎな少女モモは、時間をとりもどしに「時間の国」へゆく。そこには「時間の花」が輝くように花ひらいていた。時間の真の意味を問う異色のファンタジー。

## ⑤『ライ麦畑でつかまえて』 サリンジャー/著

インチキ野郎は大嫌い！ おとなの儀礼的な処世術やまやかしに反発し、虚栄と悪の華に飾られた巨大な人工都市ニューヨークの街を、たったひとりでさまよいつづける 16 歳の少年の目に映じたものは何か？ 病める高度文明社会への辛辣な批判を秘めて若い世代の共感を呼ぶ永遠のベストセラー。